

3. 農業新技術の概要

1) 菜豆新品種候補「十育A52号」

十勝農業試験場 豆類第2科

1. はじめに

菜豆手亡類では、インゲン炭そ病が発生し、これまでの品種に抵抗性がないことから薬剤による防除が行われている。しかし、発生の著しいときはその効果が十分ではなく、収量や品質の低下などの被害が大きい。このため、インゲン炭そ病に対する抵抗性品種の開発に対する要望が強かった。

2. 育成経過

本系統は、昭和58年に十勝農試において、良質の「十育A40号」を母、オランダから導入した炭そ病抵抗性品種「Widusa」と多収品種「姫手亡」を交配して育成した「82HW・B₁F₁」を父として人工交配し、以後選抜、固定を図ってきたものである。

3. 特性の概要

- 1) 本系統は、炭そ病抵抗性を有し、現在の主要栽培品種「姫手亡」に比べ、子実収量および子実の外観品質が優る。
- 2) 伸育性と草型は有限叢性で「姫手亡」と同じであるが、若莢は「姫手亡」が全体に着色するのに対し、斑紋状に着色する。
- 3) 開花期、成熟期は「姫手亡」と同時期である。草丈はやや高いが、倒伏程度は同じである。
- 4) 莢数はやや少ないが、一莢内粒数はやや多く、百粒重は同じである。
- 5) 子実のアミログラム粘度はやや高いが、種皮歩合、煮熟および製あん特性は「姫手亡」とほぼ同様であり、また、加工製品の試作試験結果などから、加工特性は「姫手亡」と同等である。

4. 普及態度

北海道一円で「姫手亡」の一部におきかえて普及し、炭そ病の被害の軽減を図る。

表1 十勝農試における特性概要

系統名または 品種名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒伏 程度	落葉 良否	草丈 (cm)	主莖 節数	分枝数 (本/株)	莢数 (莢/株)	一莢内 粒数	子実重 (kg/10a)	標準対比 (%)	百粒重 (g)	品質	炭そ病 抵抗性
十育A52号	7.22	9.13	2	2	58	9.8	5.5	28.6	4.55	362	105	32.7	1	強
姫手亡	7.22	9.13	2	3	53	9.4	5.7	29.6	4.38	344	100	32.7	2下	弱

注) 試験年次は平成元年～3年。標準播による。倒伏程度0(無)～4(甚)。

落葉良否1(良)～5(不良)。品質は検査等級である。

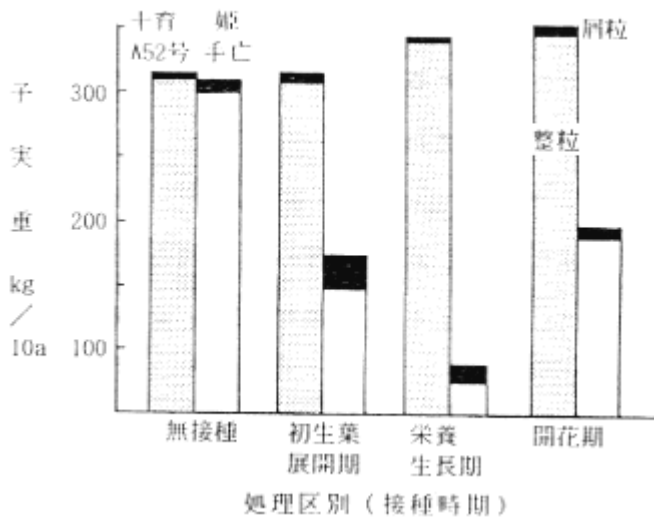


図1 炭そ病菌接種による子実重への影響(平成3年)

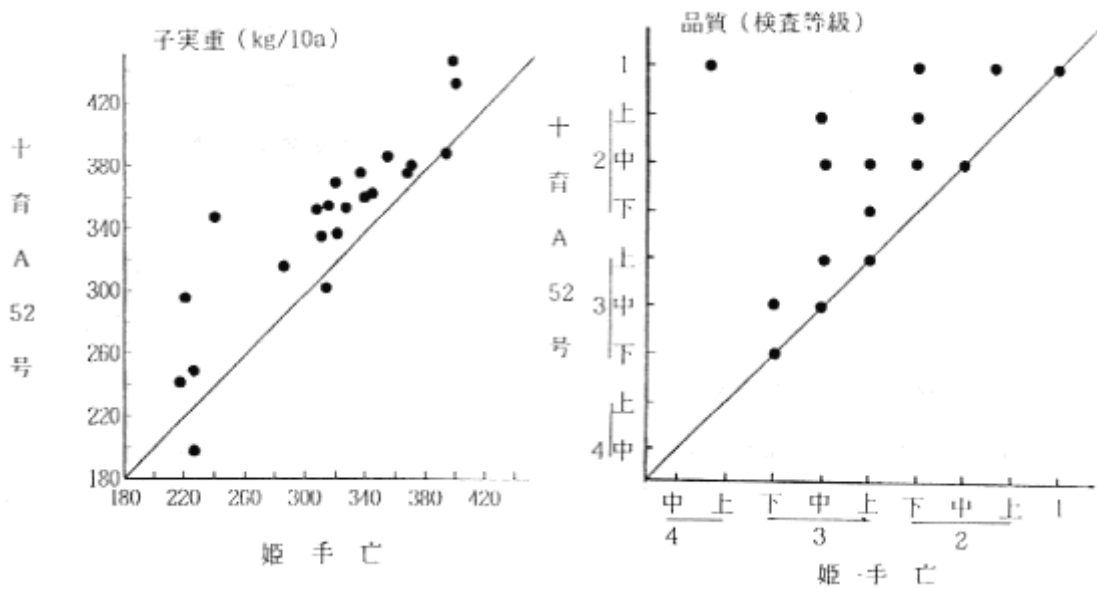


図2 普及見込み地帯における子実重および品質の比較(平成元年～3年)